

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010605010101	事務事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部		
政策名	05	きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)		担当課	霧島ジオパーク推進課		
施策名	04	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		担当課長	竹下 淳一		
基本事業名	01	ジオパーク活動の推進		グループ	霧島ジオパーク推進G		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	特に無し	
	項	01 商工費					
	目	06 霧島ジオパーク推進費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特に無し		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島ジオパーク推進連絡協議会の事業運営費として負担金を交付する。
 ※霧島ジオパーク推進連絡協議会(以下「協議会」という。):平成20年10月に、環霧島地域を組織する地域(以下「環霧島地域」という。)の美しい地質遺産を、地域住民、行政等が連携して保護・研究し、教育的活用やジオツーリズムの場として利用できる環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与することを目的として設立された。
 負担金は宮崎県都城市・高原町・小林市・えびの市、鹿児島県霧島市・曾於市の5市1町から人口割り20%、均等割り80%で算出し、毎年度協議会に対し支払っている。
 協議会の事業は、環霧島地域における自然保護に関する事業、地質学的・生態学的調査研究に関する事業、ジオパーク資産を利用した教育啓発及び観光に関する事業、地域連携や情報発信等に関する事業等で、特定の政策・施策に限られたものではない。

① 活動指標(事務事業の活動量)	単位	29年度(実績)	30年度(見込)	31年度(実績)	31年度(見込)	2020年度(見込)
ア 負担金を交付した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標(左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度(実績)	30年度(見込)	31年度(実績)	31年度(見込)	2020年度(見込)
ア 市民	市民数	数	125,338	125,969	124,785	126,230	126,490
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

④ 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標(左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(実績)	31年度(目標)	2020年度(目標)
ア ジオパークのことを知ってもらおう	ジオパークの認知度	%	95.6	98.0	-	98.0	-
イ ジオパークの活動に参加してもらおう	ジオパークの認知度への参加率	%	14	14	-	14	-
ウ	*H30は市民意識調査未実施のため回答不能						

(6) 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

出前講座やフォーラム、モニターツアーなどを開催し、ジオパークの認知度向上を図るとともに、ジオパークの目的である地域の持続可能な発展を目指し、関係機関や民間団体と連携しながら、地域資産の保全、教育や観光への活用、防災への取組みを推進します。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	4. 事業費の推移	単位	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(決算)	31年度(予算)	2020年度(計画)	
平成20年10月14日に鹿児島県湧水町で開催された「第3回環霧島会議」において、霧島ジオパーク推進連絡協議会を設立することが決定され、同日上記協議会を設立した。現在は平成27年11月のユネスコの正式事業化に伴い、世界ジオパークネットワークへの加盟のハードルが非常に高くなってきている。環霧島地域の住民との積極的な協働を求める意見がある。 ※ジオパークの活動は民間団体と協働してその目的を達成することが重要である。霧島市民の認知度向上を求める。	事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1,468	1,786	1,337	1,496	1,500
		事業費	千円	1,468	1,786	1,337	1,496	1,500

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成30年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
協議会実績 ・教育事業 子ども交流事業(台風接近により参加取りやめ) 子ども火山スクール(関之尾滝キャンプ場 16人) 授業支援(市内各小中学校、高校 19回) 御池青少年自然の家教育イベント 2回 ・PR事業 イベントブース出展 ・ガイド研修 例会、ガイド研修を開催 ・国際会議参加 ユネスコ国際会議(イタリア大会) ・JGN関係 全国大会(アホイ岳GP大会) 九州GPネットワーク会議(島原半島GP、大分豊後大野GP) ・その他 各構成市町の関係団体と連携したツアー、トレッキング等	協議会成果 平成30年度は、2回目となる再認定審査があったため、研修会への参加等が少なくなった。その中で、子どもたちへの教育事業をはじめ、ブース出展によるワークショップの開催、他の関連団体と連携した取組は継続できた。 また再認定審査の結果を受け、関係者と改善すべき点や良かった点について話し合いを重ね、新たな推進活動の方向付けのきっかけを作ることができた。

事務事業コード	0107010605040101	事務事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	霧島ジオパーク推進課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	当該事務事業の目的は、観光・防災・教育等複数多岐に渡るため、基本事業の意図には直結しないが、間接的に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ジオパークは持続可能な地域づくりを官民一体となって行う事業であり、美しく世界に誇れる自信に満ちた賑わいのある環霧島地域を築くために、ジオパーク活動を市が支援していくことは妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	ジオパークの認知度は高くなっているが、参加率はまだまだ低く、ジオパークの普及啓発活動、教育活動を広く継続・実施することにより、現状値の向上が期待できる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	広域で行う事業であるため、霧島市の判断だけで廃止・休止は不可能である。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	民間資金の活用、鹿児島県から負担金や国からの補助金を受けること等により、全体として市負担分を削減する余地は若干あるものの現状としては難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	当該事業は負担金の支払い事務であるため、これ以上の削減や効率化を図ることは出来ない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	負担金を執行する協議会では、環霧島地域の地域振興を目的として広く事業を推進しており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成31年度定例総会において、現行のジオパークエリアを各自治体全域へのエリア拡大にすることが決定した。これにより、今後事業全体が膨らむことになる。構成自治体に職員派遣を求めるなど人員配置の見直しや、構成自治体及び関係団体との業務の役割分担など、如何に効率良く運用していくか検討すべきである。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	平成31年度の課題の内、解決できたものや解決できそうなものを優先的に取り入れ効率よく更に充実した推進活動を展開して行く。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

